

RUSSET ALLEY

- 余韻 で繋がる連棟式住戸 -

主要用途 : 賃貸併用住宅
構造 : 木造在来工法
階数 : 地上2階
建築面積 : 167.74㎡
延床面積 : 296.81㎡

●GOOD DESIGN AWARDS 2017



©河野有悟建築計画室



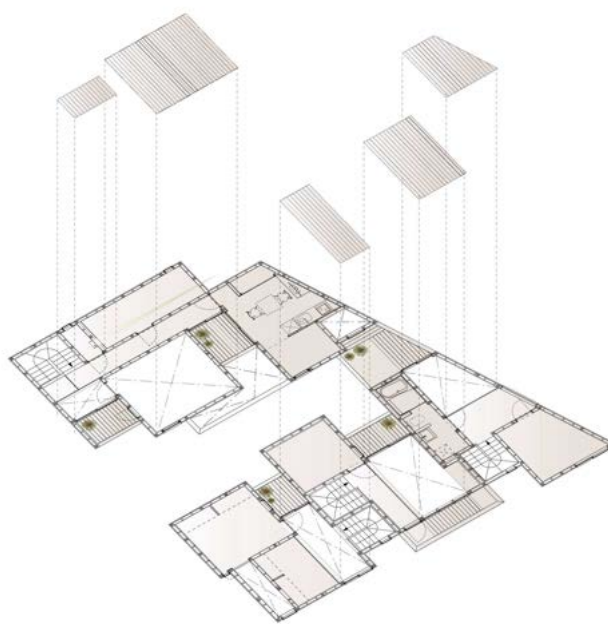
生活空間に引き込まれた小路がつくる豊かな距離感

住宅街に建つオーナー住戸（2世帯）と3戸の賃貸住戸からなるメゾネット形式の集合住宅。

自宅の建替えを機に家族の将来像を見据えての配置計画となっている。不定形の敷地に合わせて配置した、コの字型のボリュームの中央に敷地内通路を引き込み、そこに5つの棟を互い違いに配置した。

プライベートな空間が納まる垂直性のある連棟の隙間からは、間口いっぱいの開口部を持つ玄関ポーチやテラスなどが見え隠れしている。ボリュームと開口部は交互に向き合い、プライバシーを確保しつつ、光と解放感を獲得している。お互いの視線はすれ違いながらも路地とは繋がり、深い懐が生み出す陰影とともに、住む人々の雰囲気路地にじわりと滲みでるような、戸建て住宅では得がたい豊かな路地空間がある、余韻で繋がる連棟式住戸となった。住まいの内部ではLDKや土間上部に重ねて設けた構造体現しのデッキは架構先端の1辺を開放し、その隙間から換気や家族の気配が通う小さなスキップフロアとなっている。これにより収益面積を削ることなく、上下階が繋がって上階の光を下階まで導き、換気効率を向上させて、かつ天井高さに変化がある立体空間を生んでいる。





VOID に架けた DECK

